

Dr.ひろみの

ハッピー子育てひろば



鈴木 裕美 (すずき ひろみ)

みなさん、こんにちは。先日、元私の患者だった子から大学に合格したという知らせが届きました。合格祝いに食事会をすることになり、お母さんもぜひ一緒にとお誘いしたところ、「きっと息子が母親と一緒になんて嫌だろうから」と遠慮されました。ところが彼は、「(嫌なことないのに) お母さんは自分のことをまだ思春期だと思っているから」と話し、電話で説得して呼んでくれました。思春期を越した男の子ほどかわいいものはないな、と目の前で微笑ましくやり取りをしている親子を見て思いました。現在、絶賛思春期中で辛い思いをしているあなたも、必ずトンネルを抜けますから、大丈夫です！

最終回は

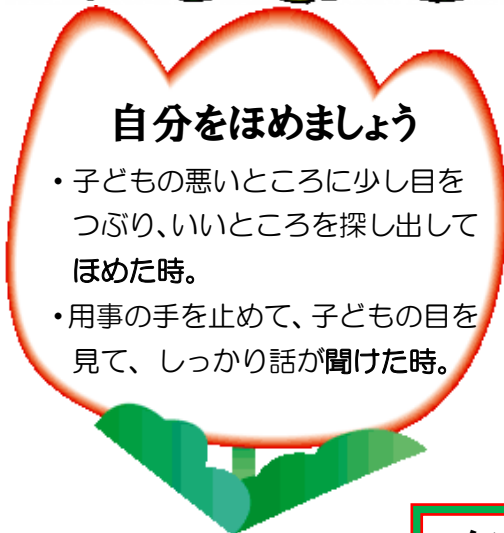
完璧でなくていい。
「待つこと」にこそ
意味がある です。



頂いた感想の中に、「話を聞いてやってみようと思ったけど、その後が続かない。」「わかっているけど、できない」という意見が多くありましたが、そういうものです！こうすればいいと分かっているけど、できないのが人間です。大人がそうなんだから、子どもにとってはもっと難しいということです。40年ほど生きてきた人間ができないのに、10年も生きていない人間ができるわけがないのです。

自分をほめましょう

- ・子どもの悪いところに少し目をつぶり、いいところを探し出してほめた時。
- ・用事の手を止めて、子どもの目を見て、しっかり話が聞けた時。



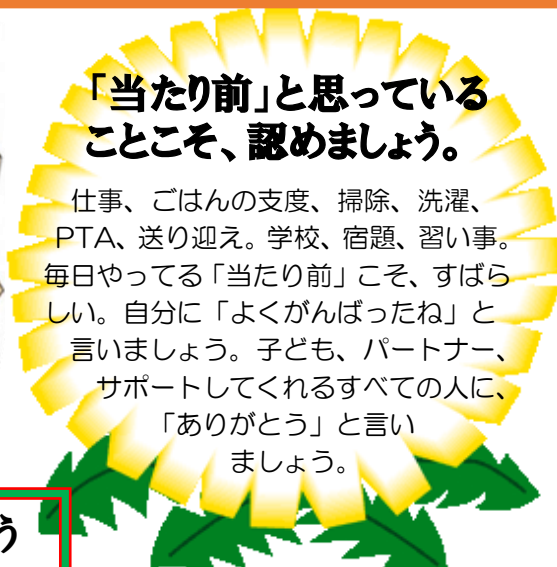
よくできたね

がんばってるね



「当たり前」と思っている
ことこそ、認めましょう。

仕事、ごはんの支度、掃除、洗濯、PTA、送り迎え。学校、宿題、習い事。毎日やってる「当たり前」こそ、すばらしい。自分に「よくがんばったね」と言いましょう。子ども、パートナー、サポートしてくれるすべての人に、「ありがとう」と言いましょう。



気長に待ちましょう

「なんでできないの?」「何回も言っているでしょ!」なんて、子どもに対しても、自分に対しても言わないで、「できるまで」、「習慣になるまで」、「当たり前になるまで」、気長に待ちませんか? 1割できれば、よし 3割できれば、優秀です。

大人の社会ではなんでも早く、効率的に行うことが仕事のできる人と認識されるからか、私たちの口癖は「早くしなさい」ですね。でも、ゆっくり待ってもらえない子どもは、自分の成長もゆっくり待つことができません。すぐできないと諦める。すぐに結果が出ないと腹を立て、我慢することができません。親が早くできないと我慢できないのだから、子どもも我慢できなくて当然ですよ。親から信じて待ってもらえる経験は、自分を信じて頑張る力を育てます。待つことは積極的な子どもへの関わりです。プしずに待とう!



あなたも、
あなたのお子さんも、
あなたを支える人たちも、
みんな精一杯やっています。
忙しい時間を割いて、子育て
ひろばを読んでくれてあり
がとうございます。私は
皆さんを心から応援
しています。

